

愛知県公立大学法人の第三期中期目標期間における業務実績に関する見込評価結果の概要

全体評価

「存在感と信頼感のある『地域の重要な教育研究機関として活躍する大学』を目指し、自らの強みや特色を生かした機能強化を図り、地域を支える人材の育成、地域との連携や地域への貢献を推進するために、自治体、他大学、産業界などとの連携の一層の強化に取り組む」という中期目標の方向性に沿って
中期目標の達成見込状況が良好であると認められる。

項目別評価

大項目	※(1) 小項目	低い ← 評価 → 高い				※(2) 評価
		I	II	III	IV	
①業務運営の改善及び効率化に関する項目	9			8	1	A
②財務内容の改善に関する項目	2			2		A
③教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する項目	2			2		A
④その他業務運営に関する項目	4			4		A
⑤教育研究等の質の向上に関する項目	45			35	10	— ※(3)

※(1) 小項目評価区分
 I：中期計画を実施できない見込みである。
 II：中期計画を十分には実施できない見込みである。
 III：中期計画を十分に実施する見込みである。
 IV：中期計画を上回って実施する見込みである。

※(2) 大項目評価区分
 S：中期目標の達成見込状況が非常に優れている。(特に認める場合)
 A：中期目標の達成見込状況が良好である。(すべてⅢ～Ⅳ)
 B：中期目標の達成見込状況がおおむね良好である。(Ⅲ～Ⅳが9割以上)
 C：中期目標の達成見込状況が不十分である。(Ⅲ～Ⅳが9割未満)
 D：中期目標の達成のためには重大な改善事項があると見込まれる。(特に認める場合)

※(3) ⑤教育研究等の質の向上に関する評価については、2025年度に行う中期計画総合評価で評価することとしており、第三期中期目標期間における業務実績に関する見込評価では事業の外形的・客観的な進捗状況の確認を行った。

評価に当たっての意見、指摘等

・第三期中期目標期間の4年の間に、中期目標策定時には想定しえなかった新型コロナウイルス感染症の影響を受けたにも関わらず、教育や研究等において、様々な業務運営の工夫を重ね、中期計画を推進してきたことは評価する。

・愛知県立大学では、新教養教育カリキュラム「県大世界あいち学」による全学部連携型授業や複数学部連携授業の推進及び学部横断型・分野横断型の研究体制の整備、愛知県立芸術大学では、異分野のコラボレーション教育の実施及び自治体、他大学、産業界との連携や地域貢献の取組の推進、法人運営では、2大学連携事業や県との連携を推進したことを特に評価する。

・今後、残りの2年間においても、愛知県立大学では、「県大世界あいち学」等の全学部連携型授業等の推進による学部4年間を通した教養教育カリキュラムの完成、愛知県立芸術大学では、領域を超えた授業科目の連携や自治体、他大学、産業界など多様な主体との連携を推進し、更なる発展を遂げられることを大いに期待する。

・第四期に向け、指標の設定など課題を整理するとともに、第三期までに積み上げてきた取組を更に発展させ、大学の魅力、知名度の向上に向け、更なる努力をしていただきたい。

評価委員会が高く評価した項目

- ①業務運営の改善及び効率化に関する項目
(法人運営)
 - 様々な連携による大学の魅力づくりの推進
- ⑤教育研究等の質の向上に関する目標
(県立大学)
 - 教養教育カリキュラムによる5学部連携教育の推進
 - 専門教育におけるカリキュラムの見直し
 - 大学院教育におけるコース、カリキュラム等の検討、見直し
 - 学部・研究科横断型の学際的研究や、産業界・地域社会等との連携による高度で挑戦的な研究を積極的に推進
 - 外部資金の獲得に向けた取組の推進
 - 県等との意見交換会を通して、地域課題への対応に向けた取組の推進
- (芸術大学)
 - 世界水準の人材の育成に向けた魅力ある学部教育の推進
 - 教員の芸術活動・研究の推進とその成果の地域還元
 - 研究支援体制の整備、企業等との連携強化、外部資金の獲得増に向けた取組
 - 愛知県や他の自治体、他大学、産業界、文化施設等との多様な連携を推進

評価委員会が遅れているとした項目

なし